

暴風雪時に危険を感じたら「ふぶき待避所」 を御利用ください

～紋別市内で暴風雪時緊急待避場所の周知・運用の実証実験を行います～

網走開発建設部では、紋別地域において、地域の方々や他の行政機関との連携による「紋別協働型道路マネジメント」※に平成24年度から取り組んでいます。

平成25年3月に当該地域を含む道東地域で発生した暴風雪災害を踏まえ、暴風雪時のドライバーの皆様の安全確保を目的として、民間企業の駐車場等を暴風雪時の緊急避難所（ふぶき待避所）として待避車両を受け入れる官民協働の実証実験を、昨年度に引き続き紋別市内で行います。

吹雪で前が見えない等、危険を感じた時は、迷わず「ふぶき待避所」を御利用ください。

- 1 実施期間 : 平成29年12月1日（金）～（冬期間）
- 2 実施地域 : 紋別市内（詳細は別紙参照）
- 3 実施内容 : 別紙参照

※協働型道路マネジメントとは、多様な主体と連携し、地域の持つ資源を最大限に活用した地域の魅力向上を図るとともに、より効率的・効果的な道路の整備・管理を行い、道路の機能・役割を最大限に発揮する取組です。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

道路計画課 課長 松久 浩 0152-44-6171（内線 351）

道路計画課 道路調査官 菊地 雅大 0152-44-6171（内線 477）

網走開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



暴風雪時にキケンを感じたら

【暴風雪時における緊急待避所実証実験】

官民協働

ふぶき待避所

をご利用ください!

平成 25 年 3 月に発生した暴風雪災害を踏まえ、暴風雪時にドライバーの皆様の安全を確保するために、平成 25 年度から「ふぶき待避所」と称した暴風雪時の緊急待避所の実証実験を紋別市内で行っています。
吹雪で前が見えない等、危険を感じた時は「ふぶき待避所」へ待避してください!

実験の概要

本実験は、官民協働の取組として緊急待避所を示すサインを設置するとともに、今後の運用における課題等の検証を行います。

緊急待避所協力会社及び施設

- ①オホーツクソーテック株式会社（平成 25 年より継続）
- ②北東開発工業株式会社（平成 25 年より継続）
- ③紋別市営大山スキー場（平成 27 年より継続）



実験期間

平成29年12月1日(金)～（冬期間）

備考

・緊急待避所協力会社及び施設の職員が不在でも待避できます。



実験箇所



このサインが目印です

緊急待避所までの距離を示すサインを固定式視線誘導柱及び標識柱に設置
※設置場所により距離が変わります。



実証実験イメージ



実験主体：紋別協働型道路マネジメント

問い合わせ：紋別協働型道路マネジメント事務局（網走開発建設部 道路計画課内） ☎0152-44-6510